

まなぶた通信

発行責任
鹿児島大学
図書館
サポーター

今年オンライン開催 学生選書ツアーを行いました

昨年の8月末にオンライン学生選書ツアーが行われました。「学生選書ツアー」とは学生が書店に行き、図書館に置いて欲しい本を選ぶ企画です。例年は書店で行っていましたが、令和3年度はオンラインで開催しました。研究などで使いたいがなかなか自分では手が出せない本を図書館に入れてもらえるチャンスです。また、選ばれた本はポップとともに展示されました。例年開催されているため、自分では手が出せない本や多くの人に知ってもらいたい本がある場合はぜひこの企画に参加してみてください。

図書館サポーター

令和3年度の図書館サポーターは、学部生・大学院生の計15名が参加しております。6月23日に行われたキックオフミーティングの際に初めて顔合わせをしました。その後、分科会毎にそれぞれ活動を行っています。コロナ禍において、イベントが中止になるなど予期せぬ事も起こりましたが、オンラインを駆使しました。今回のまなぶた通信に全てを記する事はできなかつたのですが、様々な活動をする事ができました！

(一年 宮園)



(1年 北園)

館長懇談会

今後の図書館サポーター活動に向けて

令和3年11月24日に、橋口附属図書館長と附属図書館中央図書館学生サポーター(以下、図書館サポーター)9名とのオンライン懇談会を実施しました。今後の図書館サポーター活動を図書館利用の活性化に繋げる目的のもと、図書館サポーター・館長・図書館職員がサポーター活動に対する意見や要望などの意見交換を行いました。図書館サポーター一人ひとりの意見を率直に出し合うことができ、今後の活動や図書館にとつて、大変有意義なも

ビブリオバトル開催

令和3年10月17日にオンラインで、大学ビブリオバトル・オンライン大会2021の予選会である「知的書評合戦ビブリオバトル」鹿児島大学が行われました。例年では、鹿児島大学内で3回のビブリオバトル開催予選会を行い各回のチャンプ

本に選ばれた方が宮崎大学との地区決勝に挑みますが、今回はオンライン開催ということで宮崎大学と合同の予選会となりました。急遽開催したにもかかわらず、鹿児島大学・宮崎大学の両校から発表者4名、参加者17名と多くの方が参加していただきました。ビブリオバトルではそれぞれ5分の発表と、2〜3分の質疑応答があり、その発表

表を聞き最も読みたくなった本に投票して「チャンプ本」を決定します。今回最も票を集めたチャンプ本に選ばれたのは、鹿児島大学の高森さんが紹介した「アメリカン・ブッダ」(柴田勝家著)でした。高森さんは、12月12日に行われた大学ビブリオバトル・オンライン大会2021の準決勝にも参加していただきました。(二年 米倉)

実りある懇談会となりました。この懇談会を活かして、今後ますます積極的に図書館サポーターとして活動を行ってまいります！(一年 宮園)



鹿児島大学中央図書館紹介動画 中央図書館の荷力を高校生へ発信

オープンキャンパス(令和3年度はオンライン開催)に向けて、鹿児島大学中央図書館(以下、中央図書館)の紹介動画を作成しました。きっかけは、コロナ禍の為に、高校生の方々が、館内に立

ち入れない状況の中、オンライン上で中央図書館の魅力をしつてもらうとサポーター皆で考えたためです。そして、概要だけでなく、地下の書架について、中央図書館からの眺めについて

など、コアな内容も盛り込みました！また、鹿児島大学のマスコットキャラクターである「さつつん」が動画に登場し、案内をしてくれています。動画の構成・編集は、サポーター皆の意見を取り入れつつ、私も含め、担当グループ4人で行いました。編集は、全員初心者であったことから、誰も編集の仕方を知らない...という所から始まりました。また、コロナ禍で作業を進めることが大変な時期もありましたが、職員の方にも協力していただき、約2か月かけて動画を完成させることができました。編集は思っていたよりも緻密な作業で、大変なことが多かったです。達成感もあり、とても良い経験ができました。サポーター皆の思いが、動画を通して高校生の方々に伝わるとよいなと思いま

編集後記

図書館サポーターの一員として、まなぶた通信の編集リーダーとなりました。如何せん編集は初めてのことで、戸惑いながらの作業でしたが、良い経験となりました。

勉強やサークル、アルバイトとの兼ね合いを見ながら、読書を楽しむのも良いですね。自分だけのお気に入りの本を見つけるのも良いですね。(二年 宮園)